

米軍機の部品落下

車直撃「岩国移駐」影響も
けが人なし

厚木基地近く

8日午後2時ごろ、大和市上草柳の米海軍厚木基地の滑走路前の県道に、着陸体勢に入っていた電子戦機E A 6 B プラウラーから機体の一部が落下した。複数のアルミニウム製部品が飛散し、うち一つが県道を走行中の乗用車に当たった。乗用車を運転していた男性会社員(59)＝同市＝らにけがはなかった。部品は最大で218センチ×107センチの大きさで、基地フェンス外では路上などで6個が回収された。米軍が事故原因を調べているが、鳥と衝突したという見方も出ている。

(県央総局)＝関連記事23面に

大和署や米軍などによる一傷ついた。問題の機体は米＝原子力空母ジョージ・ワシントン＝の艦載機。通常訓と、衝突で乗用車の屋根が、海軍横須賀基地を母港とす



落下した部品を回収する米軍関係者＝8日午後3時20分ごろ、大和市上草柳(山元 信之写す)

練から帰還中、厚木基地付近で左のジェットエンジンと排気管のカバーのパネル2枚が何らかの原因で外れ、そのまま着陸した。部品はフェンスそばや路上など100メートルにわたって散乱。県道は一時、通行止めになった。

事故当時、現場近くには

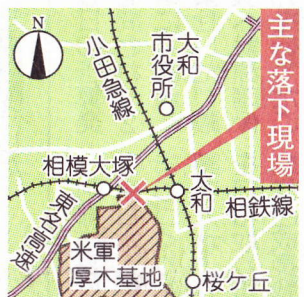


部品落下事故を起こしたとみられる米軍機＝8日午後2時ごろ、厚木基地近く(読者提供)

軍用機を撮影するために大勢の航空機ファンがいた。ある男性(36)は「鳥がたぐさん飛んでいる中をプラウラーが下りていった。バーンという音がして多くの破片が広がった。基地の中に7割、外に3割くらい落ちたと思う」と話した。

米海軍は「事故原因を徹底して調査し、再発防止に努める。厚木基地周辺の住民に迷惑をかけ、大変遺憾に思う」などとするコメントを書面で出した。プラウラーは老朽化などを理由に、今年春に後継機のE A 18 G プラウラーに交代予定という。

事故現場は基地北側の県道横浜厚木線(厚木街道)。道路に沿って相鉄本線が通る。



で合意。しかし、事故の影響を指摘する声も出ている。移駐に反対する田村順玄岩国市議(66)は「神奈川で起きたことは岩国でも起きる。移駐は負担のたらい回し。艦載機は早くアメリカに持って帰ってもらいたい」と話した。